伝えよう 魅力。 見つけよう 感動。

本庄市観光振興計画

平成30年3月

本庄市マスコット
はにぽん

はじめに

観光”の語源は、中国古典の「易経」にある「国之光ヲ観ル」（その国の実情をよく観察する）という一文に由来します。その土地に生きる人々が織りなす“もの・こと”の、人を感動させる魅力（＝光）を、見極め・その本質に触れる（＝観る）、と解釈して良いでしょう。

本庄市には豊かな自然や様々な特色ある歴史、伝統や文化などの観光資源が豊富に存在しています。これらの資源の個々の魅力を市内外に効果的に情報発信し、外からの視点を取り入れながら私たちがさらに磨きをかけることは、本市の外部評価を高めるとともに、私たち自身の郷土愛の醸成にもつながります。

また、本庄市を訪れたお客様に温かいおもてなしの心で接し、皆様がリピーターとして繰り返し本市を訪れていただくことは、本市の交流人口の増加と地域の活性化につながります。

昨今観光を取り巻く環境も変化してきており、日帰り旅行の増加など観光ニーズの多様化に加え、訪日外国人旅行者の急増、ＳＮＳの活用による情報の取得など、様々な新しい状況が生まれつつあります。

このような環境の変化に対応し、それをチャンスにすべく、このたび本市の観光政策を総合的に推進していくための「柱」となる「観光振興計画」を策定いたしました。策定にあたり、

① 本庄市として観光にしっかりと取組んでいく「姿勢」、
② 地域の魅力を再発見し、さらに美しく磨いていく「意欲」、
③ 他所から評価していただけるような本庄市を目指す「謙虚な心」
　の３点が「要」であると考え、これを端的に表すキャッチコピーとして
「見つけよう、感動。伝えよう、魅力。～みんなで織りなす本庄絵巻～」
を定めました。

計画の推進にあたっては、行政のみならず市民、NPO、民間団体等の連携・協働により、共に美しい本庄市という絵巻物を織り上げてまいりたいと存じますので、皆様方のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本計画策定にあたりまして、市民ワークショップに参画いただきました方々、関係団体ヒアリングやアンケート調査などにご協力をいただきました方々をはじめ、策定に関わっていただいた全ての皆様に、心から御礼申し上げます。

本庄市長　吉田信解

目　次

第１章　計画策定の趣旨
１．計画策定の背景 1
２．計画の期間と位置づけ 2
第２章 観光動向
１．国・県の動向 3
２．観光動向と本市の関係 4
第３章　現状と課題
１．各種調査 8
１―１　Ａ調査（来訪客調査） 9
１―２　Ｂ調査（観光関係者調査） 10
１―３　Ｃ調査（市民調査） 11
１―４　Ｄ調査（海外旅行経験のある外国人調査） 12
１―５　六高祭会場アンケート調査 13
１―６　モニターツアーアンケート調査 14
２．市民ワークショップ 15
３．調査結果・ワークショップからの考察 16
４．本市の観光に関する課題と方向性 20
第４章　計画の基本構想
１．計画の基本方針 21
２．計画の基本戦略とＫＰＩ 22
第５章　計画推進に向けて
１．計画の推進 24
資料編